

【レポート】

# ウクライナ・日出生台から考える 反戦・平和の取組



全日本自治団体労働組合  
大分市職員労働組合

大分市職労自治研青年部部会

自治研活動とは...

普段の仕事の中で、「こうすればもっと良くなる、  
「こうした方がいい」という思いを

職場の仲間、市民

とともに実現しようとする活動

<疑問>

「反戦・平和」というテーマがなぜ自治研活動になる  
のか？

## 実例に基づいて検証してみる～ウクライナ侵攻～



ロシア軍によって破壊された建物(キーウ)  
(出典:cnn.co.jpより)

2022年2月24日 ロシアによるウクライナへの攻撃

2022年9月30日 ロシアによるウクライナ東南部州の併合宣言

2023年6月～ ウクライナによる反撃激化  
双方に大きな被害を生み出し続けている

ウクライナでの市民の被害者は7,000人を超えており、兵士や戦闘員になると、ウクライナでは10,000人を超え、ロシアでは40,000人を超える死者が出ているとされている。

## ウクライナの現状



ハイヒールで行進の訓練をする女性兵士 (出典:cnn.co.jpより)

国民総動員令が出されており、18歳から60歳の男性は個人情報に軍に登録することが義務づけられ、男性のみでは足りず、女性の兵士も急増している。

軍に所属する6万人超の女性兵士のうち、4千人以上が前線に配置されている。(R6.3時点)

カルミコワ ウクライナ国防次官は「戦場にいる女性兵士は世界の歴史上最多」と指摘している。

**戦争は国(行政)だけでなく、市民を巻き込んでいく。**

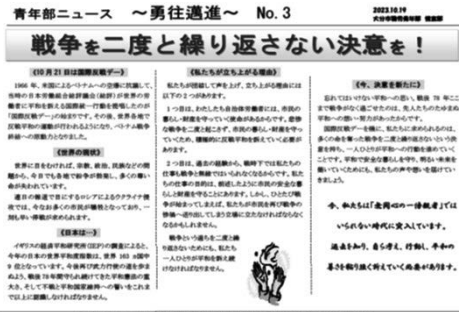
# 独自要求の反戦・平和

## 2024青年部独自要求交渉項目

- ①憲法9条を遵守し、自衛隊に関する業務を廃止すること。
- ②その他平和行政の推進をすること。

②その他平和行政の推進をすること。  
→ムッチャン平和祭の開催や平和都市宣言都市として平和都市宣言記念碑の建立などを求める。

①憲法9条を遵守し、自衛隊に関する業務を廃止すること。  
→具体的に何を要求しているのか？



「勇往邁進」ピラ  
毎年発行し、青年部員たちへ平和への意識を呼び掛けている。

# 憲法第9条について

日本国憲法

第2章 戦争の放棄

〔戦争の放棄と戦力及び交戦権の否認〕

第9条日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。

2 前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。

### 「自衛隊員とジュネーヴ条約上の捕虜との関係に関する質問主意書」

自衛隊は、憲法上自衛のための必要最小限度を超える実力を保持し得ない等の制約を課せられており、通常の観念で考えられる軍隊とは異なるものであって、憲法第九条第二項で保持することが禁止されている「陸海空軍その他の戦力」には当たらないと考えているが、直接侵略及び間接侵略に対し我が国を防衛することを主たる任務とし自衛権行使の要件が満たされる場合には武力を行使して我が国を防衛する組織であることから、一般にはジュネーヴ諸条約上の軍隊に該当すると解される。

## 要求項目について再度考えてみる

### 要求項目

**「平和都市宣言都市として、憲法9条を遵守し、自衛隊の業務を廃止すること」**

「自衛隊の業務を廃止すること」→「軍隊」として「武力の行使」につながるといった見方もできる、  
自衛隊の業務を廃止すること。

「憲法9条を遵守し」→「陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない」ことを遵守するよう求めており、加えて、「憲法の基本原則である、『平和主義』を遵守すべきだ」という要求も行っている。

↓

二度と戦争を繰り返してはならないことを市に対して再認識させ、青年部として要求している。

## 2024日出生台シンポジウム当日の様子

### 日出生台シンポジウム地元実行委員会による「地元の想い」

→「市民の視点に立った」内容であり、参加した我々もこうした思いを受け取って活動をしていかなければならないと再確認しました。



## 2024日出生台シンポジウム当日の様子



衆議院議員 屋良 朝博氏による講演

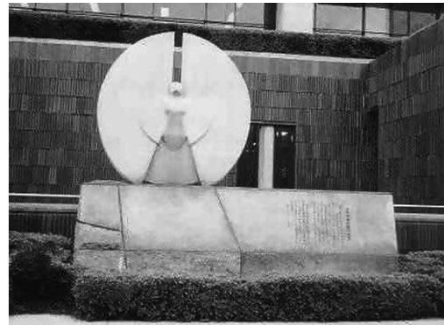
反戦平和運動に対して、団結ガンバローで組合間の結束力を高められたと感じました。



## 独自要求の反戦・平和

青年部独自要求項目  
「その他平和行政の推進に必要なもの」

- ・平和都市宣言記念碑の建立
- ・「ムッチちゃん平和祭」の開催



平和都市宣言記念碑(市役所玄関前)

## ムッチちゃん平和像



大分市HPより

ムッチちゃんとは

横浜で両親と弟を亡くし大分に疎開してきた当時12歳の女の子

結核を患い、孤独と飢えの中、西大分の防空壕で一人寂しく亡くなった。

当時の手記をもとに大分市では、平和実行委員会とともに戦争の悲惨さや平和の大切さを次世代に伝えるため、毎年「ムッチちゃん平和祭」を開催している。

## 青年部としてのこれから

- ・今もなお続くウクライナの軍事侵攻から、我々は平和について再度考え、戦争をなくし平和維持につながる様々な取組が必要である。
- ・今後も青年部として、自治体に対し平和行政の推進を求めていくことが肝要である。
- ・職員に向けた勉強会で青年部長による、反戦平和の講義等を行うことで、青年部に拘らず、職員全体の反戦平和への意識を高めていく。
- ・自治研活動は「市民の視点に立った」活動である→青年部員は日々の業務に忙殺され難しい部分も多いかもしれないが、青年部として、自治研活動の先頭に立ち、取り組んでいく所存である。